

第2期箱根町行財政改革アクションプラン

令和5～9年度

令和7年度取組状況報告書 (案)

令和8年〇月
箱根町

目 次

1	令和7年度の取組結果	… 1
	(1) 総 括	… 1
	(2) 取組みの進捗度・有効度	… 1
	(3) 計画期間中の取組内容強化	… 1
	(4) 取組みによる財政健全化効果額	… 1
	(5) 今後の取組みについて	… 1
2	令和7年度の取組みにおける主な成果	… 2
	(1) 基本方針1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換	… 2
	(2) 基本方針2 時代の変化に即応する行政サービスの提供	… 2
	(3) 基本方針3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり	… 3
	(4) 基本方針4 協働のまちづくりに向けた意識改革と自発的に行動する組織づくり	… 3
3	基本方針・重点項目別の評価結果	… 4
	(1) 評価方法及び評価点について	… 4
	(2) 基本方針別の評価結果	… 4
	(3) 年度目標の達成状況	… 5
	(4) 重点項目別の評価結果	… 6
4	計画期間中の取組内容強化	…11
5	財政健全化効果額	…12
	(1) 令和7年度の実績額	…12
	(2) 年度別の見込額及び実績額	…12
	(3) 推進項目別の財政健全化効果額一覧	…13
	(4) 財政健全化効果額の考え方	…15
6	推進項目別の評価結果	…16
	(1) 推進項目別の評価結果	…16
	(2) 推進項目別の取組状況管理シート	…19

1 令和7年度の取組結果

(1) 総括

歳入確保（量の改革）では目標以上の成果を得ることができ、サービスの向上（質の改革）も幅広い分野で実現することができました

- ・「固定資産税不均一課税の見直し」を進展させたほか、「ふるさと納税の促進」をはじめ、財源の確保に重点的に取り組み、目標を超える結果となりました。
- ・「DXの推進」、「定住化の促進」、「高齢者の買い物支援」など幅広い分野でサービスの質の向上を実現することができました。

(2) 取組みの進捗度・有効度

「取組みの進捗度」は、約3割が計画以上の進捗となり、「行財政改革に対する有効度」も、約4割が目標以上の効果となりました

- ・「取組みの進捗度」は対象55項目のうち、計画どおり以上に進捗した項目（S又はA評価）は約3割[19項目]、進捗に遅れが見られ改善が必要な項目（C又はD評価）は約2割[9項目]となりました。
- ・「行財政改革に対する有効度」は対象44項目のうち、目標どおり以上に効果が見られた項目（S又はA評価）は約4割[19項目]、効果が見込みより低く改善が必要な項目（C又はD評価）は約2割[8項目]となりました。
- ・基本方針別の評価では、特に「基本方針1（量の改革）」において、進捗度、有効度ともにS評価が増加し、目標としている財政健全化効果額の達成に向け、着実に前進することができました。

(3) 計画期間中の取組内容強化

- ・計画の進捗状況を踏まえ、5項目において取組内容の強化を行いました。
- ・「ふるさと納税の促進」は、受入体制の強化に伴い、3度目となる目標指標の引き上げを行い、令和9年度に寄付額35億円を目指すこととしました。

(4) 取組みによる財政健全化効果額

財政健全化効果額の実績額は、7億72万円となりました

- ・令和7年度の取組みによる財政健全化効果額の実績額は7億72万円となり、見込額の5億1,858万円を上回る結果となりました。
- ・この要因は、「ワーク・ライフ・バランスの推進」（歳出増▲1,418万円）など、マイナスの大きい取組みがある一方、取組内容を強化した「ふるさと納税の促進」において、寄付額が目標を大幅に上回り2億3,120万円もの歳入増となったためです。

(5) 今後の取組みについて

- ・物価高騰等の影響が継続することにより、歳出が増大する可能性があるため、歳入の確保に注力するとともに、本プランの最終年度となる令和9年度に向け、次期行財政改革への積み残しを極力減らせるように取り組んでいきます。
- ・第2期では将来を見据えて、「財源確保策の検討」や「公共施設の抜本的な見直し」などを位置付けているため、具体的な取組みにつなげていくことを意識し、着実に推進していきます。

2 令和7年度の取組みにおける主な成果

(1) 基本方針1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換

No.6 固定資産税不均一課税（国際観光ホテル整備法）の見直し 担当課：税務課

項 目	国際観光ホテル整備法の登録を受けた施設に継続して行っている固定資産税の不均一課税の制度内容を見直し、一定の期限を設けた
-----	---

(取組内容)

関係団体との協議を再開し、軽減期間は5年間、既存対象施設には経過措置（4年間）を設定する見直し案に対して、対象施設の理解を得られたため、制度の見直しを行いました。これにより令和12年度以降、約3,000万円の増収が見込まれることになりました。

No.13 ふるさと納税の促進

担当課：財務課

項 目	寄付額	目標額	実績額
		2,800,000千円	3,307,257千円

(取組内容)

新規ポータルサイトの追加に加え、食事券や体験型返礼品を充実させ、寄付額の目標を約5.1億円上回ることができました。また、旅行・宿泊に特化したポータルサイト利用者にターゲットを絞るなど、本町の特徴を意識した周知を行いました。

なお、受入体制のさらなる強化に伴い、令和9年度の寄付額目標を35億円（当初15億円）に引き上げたため、新たな総務省基準を踏まえ、寄付額の増加を目指すとともに、将来の経費率の段階的削減を見据えた運営を検討していきます。



(2) 基本方針2 時代の変化に即応する行政サービスの提供

No.32 デジタルファースト※の実現

担当課：企画課

項 目	DX推進計画に掲げた施策の進捗率	目標値	実績値
		90%以上	90%

No.33 デジタルデバйд※対策

項 目	町民向けスマホ教室開催回数 電子申請サービス等の利用数	目標値	実績値
		10回, 420件	11回, 542件

(取組内容)

No.32では、公開型GISの運用開始や町公式LINEの全面リニューアルにより、利便性の向上を図るとともに、専門的な見地から支援・助言を行うDXフェローを1名増員しました。

またNo.33では、スマホ教室を開催し、9割以上の参加者から「満足・やや満足」との声をいただくとともに、確定申告相談予約（134件）など、電子申請サービスの利用件数も目標を上回ることができました。

【公式LINEリニューアル】



※デジタルファースト：行政のデジタル化に係る「デジタル手続法」で定められた基本原則の一つで、個々の手続きやサービスが電子的に完結できるように優先していく考え方のこと。

※デジタルデバйд：インターネットやパソコンなどの情報通信技術を使える人と使えない人との間に生じる格差のこと。

(3) 基本方針3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり

No.34 定住化の促進

担当課：企画課

項 目	空き家バンクによる成約物件数	目標値	実績値
		5件 (R5～9 25件)	9件 (R5～7 23件)

(取組内容)

空き家バンクを運営する民間移住支援団体と連携し、固定資産税納税通知書に空き家バンクの周知チラシを同封したほか、相談のあった空き家所有者に対して、的確なアドバイスやきめ細かな対応等を行いました。また、制度の周知に加え、空き家活用のトークイベントを開催し、空き家の掘り起こしや利活用を促進した結果、登録・成約物件数が増加し、移住促進に寄与することができました。

【トークイベント】



No.43 高齢者の買い物支援策の検討

担当課：福祉課

項 目	65歳以上の住民にチャージ済電子マネーカードを配付し、町内全地域を回る移動スーパーの利用を促進した
-----	---

(取組内容)

令和6年度から町内の全地域で開始された民間事業者による移動スーパーについて、サービスの拡充を求める住民の声を受け、販売場所の調整や周知等に協力したことで、新たなルートが追加され、利用者が多い場所は週2回の販売になりました。

また、物価高騰対策に加え、高齢者の買い物支援、キャッシュレス決済の普及促進等を目的に、町内の65歳以上を対象に、移動スーパーでも利用可能な電子マネーカード（5,000円チャージ済）を配付しました。

利用者アンケートでは、使いやすかったと回答された方が7割以上など、移動スーパーの取組みを側面から支援することで、買い物に不便を感じている高齢者をはじめ、住民全体の買い物支援策を強化することができました。

【移動スーパーの様子】



(4) 基本方針4 協働のまちづくりに向けた意識改革と自発的に行動する組織づくり

No.47 箱根町HOT21観光プランの推進

担当課：観光課

項 目	後期計画の進捗度・取組状況 有効度の達成状況	目標値	実績値
		各60%以上	進捗度等 95% 有効度 89%

(取組内容)

町と箱根DMOが組織レベルで連携・協働して計画を推進した結果、全ての指標で目標を上回ることができました。また、観光関連団体等とも計画の進捗状況を共有したうえで、観光動向を踏まえ、各項目の具体的な取組方法等を調整しました。

なお、令和10年度以降を計画期間とする次期HOT21観光プランについては、総合計画との整合を図る必要があるため、令和8年度から2か年をかけて策定することとしました。



3 基本方針・重点項目別の評価結果

(1) 評価方法及び評価点について

- ・ 行財政改革アクションプランの進捗状況を確認し、目標の達成に向けて適切な進行管理を行うために、推進項目別に「取組みの進捗度」と「行財政改革に対する有効度」の評価を行いました。
- ・ 評価結果は、町長を本部長とする「行財政改革推進本部」で確認し、翌年度以降の取組計画に反映するとともに、行財政改革アクションプランの改定時には、学識経験者を構成員とする「行財政改革有識者会議」において、評価結果の検証を行います。

【取組みの進捗度】

評 価	分 類 (内 容)	得 点
S	計画以上に進捗（前倒しで実施等）	5
A	計画どおりに進捗	4
B	概ね計画どおりに進捗	3
C	進捗にやや遅れが見られ、改善が必要	2
D	進捗に遅れが見られ、抜本的な改善が必要	1
—	該当なし	—

【行財政改革に対する有効度】

評 価	分 類 (内 容)	得 点
S	目標を超える効果が見られる	5
A	目標どおりの効果が見られる	4
B	概ね目標どおりの効果が見られる	3
C	目標に至らない効果であるため、改善が必要	2
D	効果が見込めないため、抜本的な改善が必要	1
—	該当なし	—

※得点は、重点項目別の評価結果のレーダーチャートに用いています。

(2) 基本方針別の評価結果

項 目	項目数	進捗度						有効度					
		S	A	B	C	D	—	S	A	B	C	D	—
基本方針 1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換	20	3	3	13	1	0	0	3	5	5	3	0	4
基本方針 2 時代の変化に即応する行政サービスの提供	13	0	7	4	2	0	0	1	7	1	1	0	3
基本方針 3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり	10	0	4	5	1	0	0	0	2	6	0	0	2
基本方針 4 協働のまちづくりに向けた意識改革と自発的に行動する組織づくり	12	0	2	5	5	0	0	0	1	5	4	0	2
合 計	55	3	16	27	9	0	0	4	15	17	8	0	11
割 合 (%)	100	6	29	49	16	0	—	9	34	39	18	0	—

※割合は、「—」（該当なし）を除いて算出しています。

(3) 年度目標の達成状況

- 第2期では、取組みをより具体的なものとするため、推進項目毎に1～2つの年度目標（客観的に達成状況を把握できる数値目標や指標）を設定し、内容に応じて3種類に区分しています。
- 進捗度・有効度評価の参考とするため、年度目標の達成状況の確認を行いました。

【年度目標の区分】

区 分	分 類（内 容）
活動指標	町が何をするかを指標とするもので、主に「進捗度」評価の参考にしています。（例）ふるさと納税返礼品を●件追加
成果指標	町の活動の結果、得られる効果を指標とするもので、主に「有効度」評価の参考にしています。（例）寄付金額●円増
その他指標	新たな仕組みの導入に向けた検討など上記以外を指標とするもの。

【達成状況】

活動指標	【s】	【a】	【b】	【c】	【d】	【-】	計	分 類（内 容）	
項目数	3	8	5	8	0	10	34	【s】	年度目標超え
割合（％）	13	33	21	33	0	—	100	【a】	年度目標どおり
成果指標	【s】	【a】	【b】	【c】	【d】	【-】	計	【b】	概ね年度目標どおり
項目数	8	10	7	12	0	5	42	【c】	年度目標に至っていない
割合（％）	22	27	19	32	0	—	100	【d】	今後も実績が見込めない
合計	【s】	【a】	【b】	【c】	【d】	【-】	計	【-】	該当なし
項目数	11	18	12	20	0	15	76		
割合（％）	18	30	19	33	0	—	100		

※割合は、「—」（該当なし）を除いて算出しています。

※「その他指標」には、複数年度をかけて仕組みを導入するなど、単年度で達成状況を確認することが難しい指標を位置付けているため、達成状況の確認対象外としています。

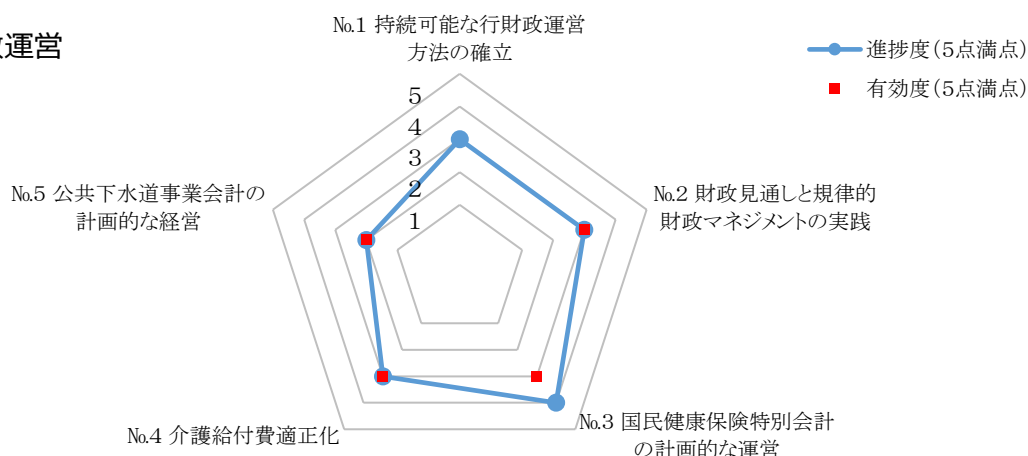
●達成状況の概要

- 「活動指標」「成果指標」とともに目標以上（【s】又は【a】）の項目が約5割、目標に至っていない（【c】）項目が約3割となりました。
- 「活動指標」「成果指標」とともに【a】や【c】の割合が大きいものの、「成果指標」では【s】が一定の割合を占めるという結果となりました。

(4) 重点項目別の評価結果

基本方針1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換

① 健全な財政運営



「No.1 持続可能な行財政運営方法」は、次年度財源不足見込額の算出結果をもとに平常時の取組みを実施するとともに、非常時に実施する財源捻出策オプションを用意するための指標を検討したため、進捗度3点としました。

「No.2 規律的財政マネジメント」では、起債のシミュレーション等により将来負担の見通しを算出するとともに、目標額の50,000千円を基金に積み立てたが、環境センターのごみ焼却炉停止に伴い基金を取り崩して対応したため、進捗度・有効度ともに3点としました。

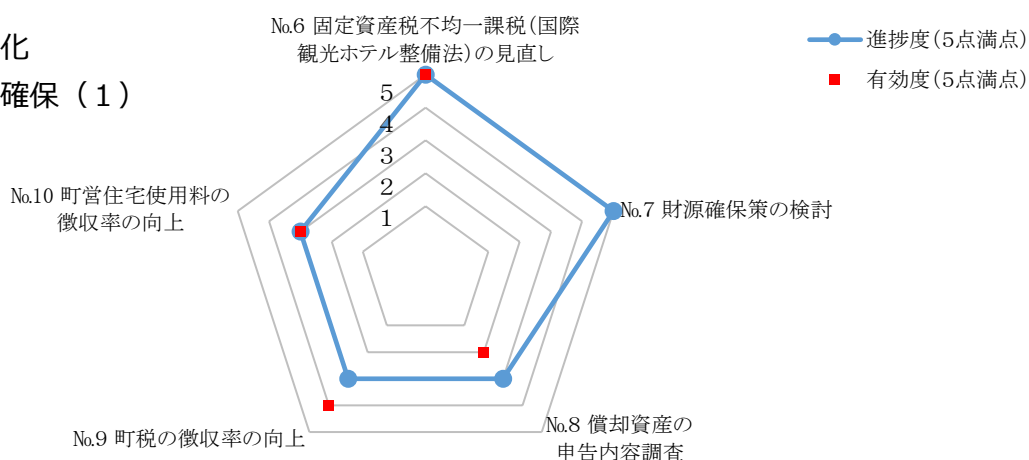
「No.3 国保特会の計画的運営」は、基金を活用し保険料率を抑制した一方で、町公式LINEによる予約を試験導入するなど受診率向上対策に取り組んだが、特定健康診査の受診率は目標に届かなかったため、進捗度4点・有効度3点としました。

「No.4 介護給付費適正化」は、計画で任意事業とした通知書の送付をとりやめ、運営指導を外部委託し、厳格な点検につながったため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.5 公共下水道会計の計画的経営」は、ストックマネジメント計画に基づき設備改修等を行うことで維持管理コストの縮減を図ったが、料金改定については前段となる基準の検討にとどまったため、進捗度・有効度ともに2点としました。

② 負担の適正化

③ 自主財源の確保(1)



「No.6 固定資産税不均一課税の見直し」は、協議を再開し、対象施設の理解を得たうえで見直しを完了したことに伴い、増収が見込まれるため、進捗度・有効度ともに5点としました。

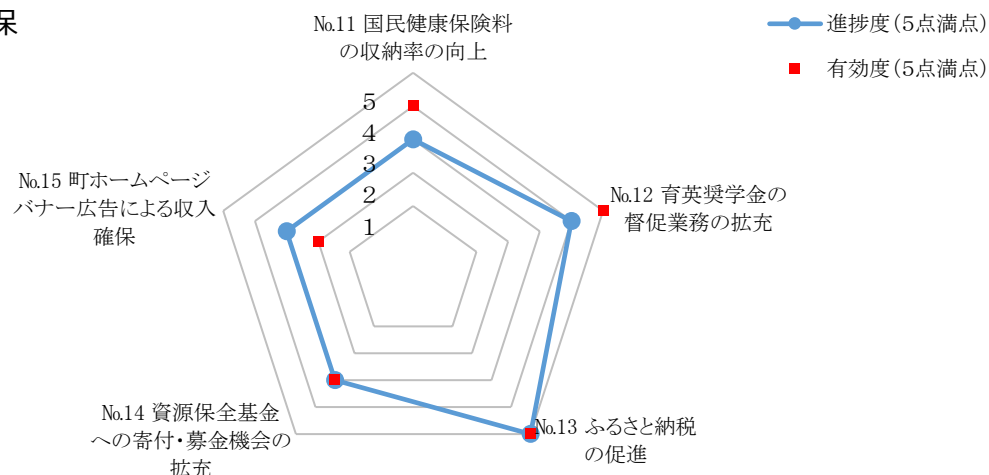
「No.7 財源確保策の検討」では、宿泊税の導入を目指し検討会議による検討を加速させ、説明会等を実施したほか、専門部会を設置して調査審議を行ったため、進捗度5点としました。

「No.8 償却資産」は、申告漏れが生じやすい施設等に絞り、償却資産アドバイザーからの助言や指導に基づき調査を行った結果、いずれも適正に申告が行われており、目標金額を大幅に下回ったため、進捗度3点・有効度2点としました。

「No.9 町税徴収率」は、新たに預貯金等電子照会システムを活用するなど滞納整理に取り組んだ結果、過去10年間で最高の徴収率となったため、進捗度3点・有効度4点としました。

「No.10 町営住宅使用料」は、悪質な滞納者に対してより強固な催告を行うとともに、高額滞納者に分割納付を促し、徴収率が向上したため、進捗度・有効度ともに3点としました。

③ 自主財源の確保



「No.11国民健康保険料」は、新たに預貯金等電子照会システムを活用するなど滞納整理に取り組んだ結果、収納率が目標を上回ったため、進捗度3点・有効度4点としました。

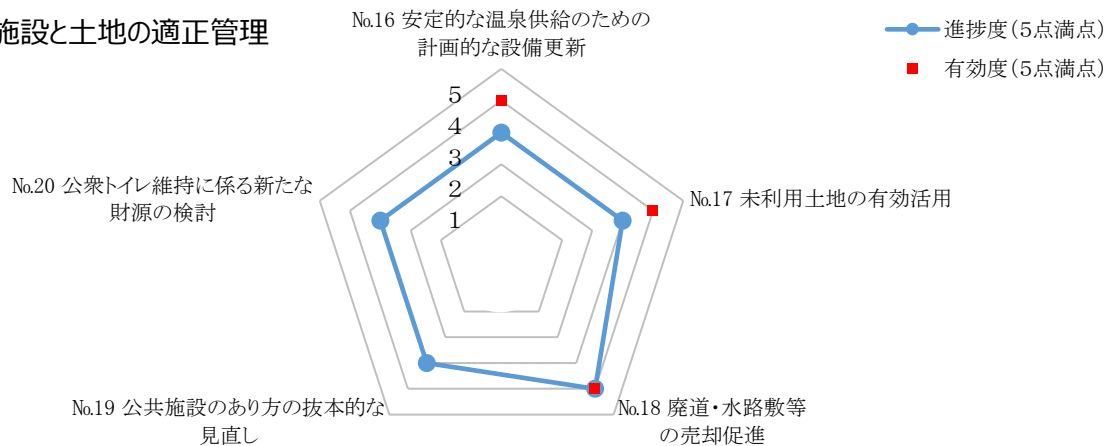
「No.12育英奨学金の督促業務」は、文書催告に対して連絡等がなかった者を対象に債権回収業務を委託するとともに、引き続き口座振替勧奨を行い、滞納繰越額を減少することができたため、進捗度4点・有効度5点としました。

「No.13ふるさと納税」は、新規ポータルサイトを追加するとともに、旅行・宿泊に特化したポータルサイト利用者にターゲットを絞った広告など町の特徴を意識した周知を行い、寄付額の目標を大きく上回ったため、進捗度・有効度ともに5点としました。

「No.14資源保全基金」は、広報で特集を組み認知度向上を図り、寄付額は微増となったものの、新規寄付事業者等は獲得できなかったため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.15町ホームページバナー広告」は、広告収入は増加したものの、広告媒体を巡る環境変化等により継続的な広告掲載に結びついていないため、進捗度3点・有効度2点としました。

④ 公共施設と土地の適正管理



「No.16安定的な温泉供給」は、経営計画見直し時期を1年延期したが、申込金等の増加により温泉基金積立金が大幅に目標を上回ったため、「No.17未利用土地の有効活用」は、インターネット公売により1件の対象物件が売却に至ったことで目標を達成したため、それぞれ進捗度3点・有効度4点としました。

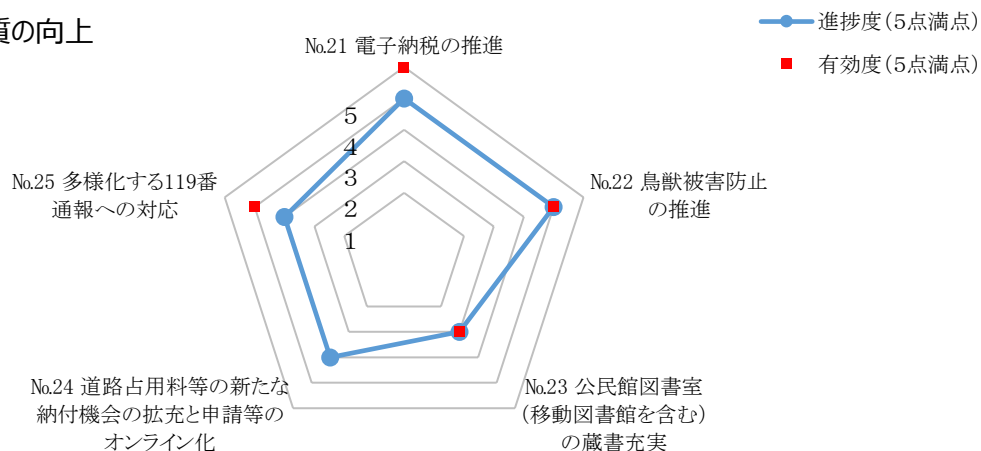
「No.18廃道・水路敷等の売却促進」は、1件の土地を売却し、目標を超える売払収入となったため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.19公共施設の抜本的な見直し」は、森のふれあい館を見直し対象に位置付け、建物と森の一体的な活用について、民間活力導入可能性を検討したため、進捗度3点としました。

「No.20公衆トイレの財源検討」は、有料トイレや協力金等について検討したが、いずれも現在設置している公衆トイレの維持という目的にはそぐわないことから、新たな財源の導入は困難であると判断し、取組みを完了したため、進捗度3点としました。

基本方針 2 時代の変化に即応する行政サービスの提供

⑤ 行政サービスの質の向上



「No.21電子納税の推進」は、県内金融機関、行政機関等との情報交換やチラシ配布等による周知啓発を行い、利用率が大きく増加したため、進捗度4点・有効度5点としました。

「No.22鳥獣被害防止」は、わな設置数や捕獲従事者稼働率を増やすなど、二ホンジカを中心に効果的な捕獲を行い、被害通報等が減少したため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.23公民館図書室」は、「読書アルバム」100冊達成者に記念品を配付するなど読書意欲の向上を図ったが、貸出冊数・人数が減少したため、進捗度・有効度ともに2点としました。

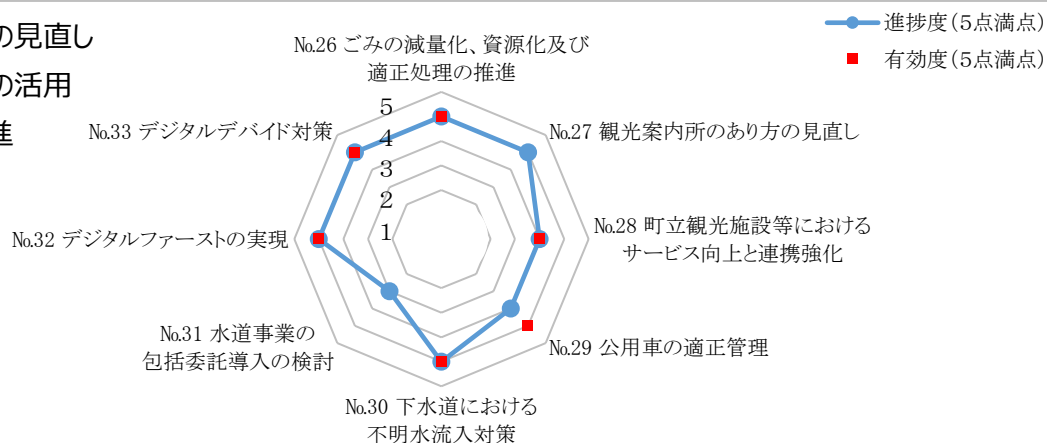
「No.24道路占用料等の納付機会拡充」は、全国の動向を踏まえ、コンビニ収納システムの導入は見送り、他市町村と情報交換等、効果的な事例を研究したため、進捗度3点としました。

「No.25多様化する119番通報対応」は、引き続き映像による119番通報を運用し、正確な状況把握や利用者の安心感向上につながったため、進捗度3点・有効度4点としました。

⑥ 事務事業の見直し

⑦ 民間活力の活用

⑧ DXの推進



「No.26ごみの減量化等」は、事業者等と食品ロス対策を検討したほか、ペットボトル全量の水平リサイクルなど、ごみの資源化を推進したため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.27観光案内所のあり方」は、宮ノ下観光案内所は問合せ先を集約して閉鎖し、仙石原乙女観光案内所は旅館案内所と統合することで、機能を継続したため、進捗度4点としました。

「No.28町立観光施設等のサービス向上と連携強化」は、共同プロモーションの充実を図り、イベント参加者の満足度が向上したため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.29公用車」は、既存システムで電子申請の試験運用を開始したほか、バナー広告の代替手段として案内看板を設置し広告収入を確保したため、進捗度3点・有効度4点としました。

「No.30不明水流入対策」は、巡視地区を増やし止水パッキンを設置したほか、破損した公共枥や取付管の補修を行ったため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.31水道事業の包括委託導入の検討」は、検討を継続したものの、民間委託、料金改定のいずれも明確な方向性が見出せていないため、進捗度2点としました。

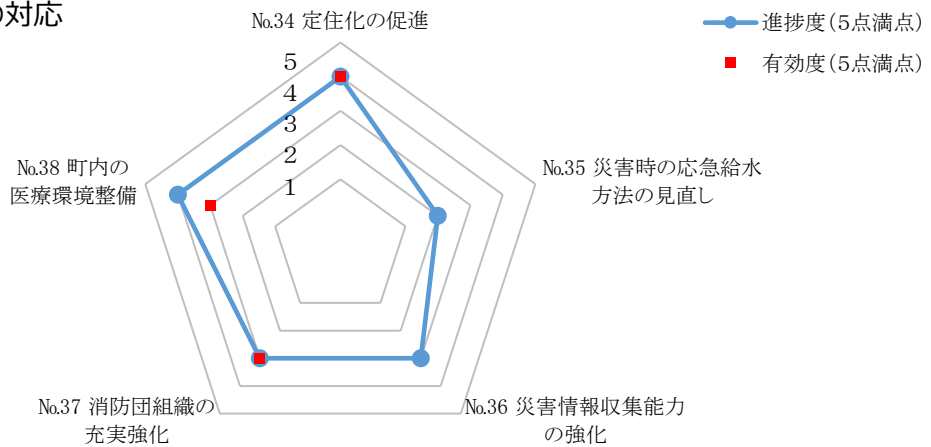
「No.32デジタルファーストの実現」は、公開型GISの運用開始等により利便性向上を図ったため、「No.33デジタルデバйд対策」は、町民サポートを継続したほか、町公式LINEを活用し電子手続きを拡大したため、それぞれ進捗度・有効度ともに4点としました。

基本方針3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり

⑨ 人口減少高齢化への対応

⑩ 災害への備え

⑪ 医療体制の整備



「No.34定住化の促進」は、民間移住支援団体と連携し、空き家所有者に対して、きめ細かな対応等を行うとともに、イベントを通じて利活用を促進した結果、空き家バンク制度による登録・成約物件ともに目標を達成したため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.35災害時の応急給水方法」は、水道管破損事故等の全国的な発生を受け、管路の改修を優先するという方針に基づき、断水時に設置済の組立式給水タンクによる応急給水を実施したが、指定配水池改造の検討は進まなかったため、進捗度2点としました。

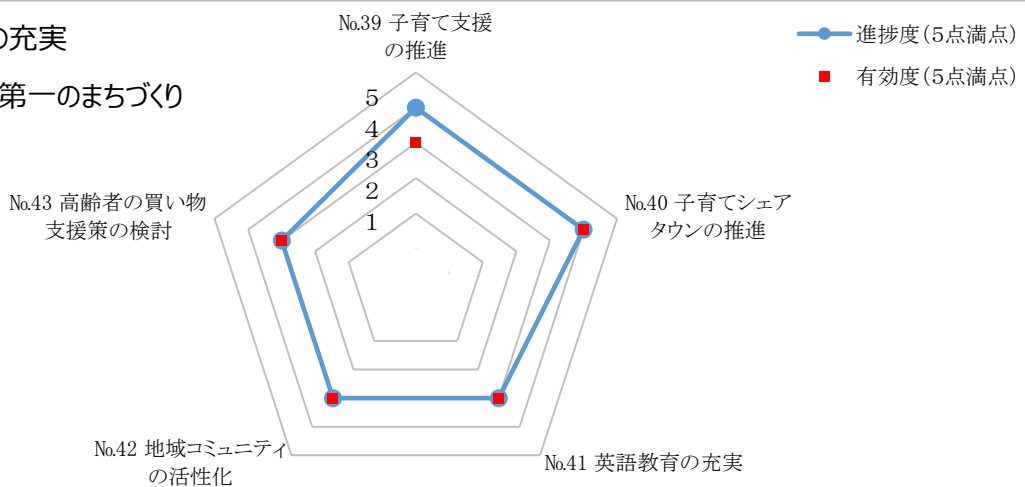
「No.36災害情報収集」は、航続距離や防塵防水機能等が向上した新機種のパイロットを選定するとともに、運用開始に向けて操縦士養成計画等を検討したため、進捗度3点としました。

「No.37消防団組織の充実強化」は、募集広報や支援制度等により一定数の新規入団につながったが、退団者が多く、団員数は減少したため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.38町内の医療環境整備」は、地域の一次医療確保を目指し、診療所の建物建設に着手したほか、補助金等により医療環境の整備を図ったため、進捗度4点・有効度3点としました。

⑫ 子育て環境の充実

⑬ 町民の暮らし第一のまちづくり



「No.39子育て支援の推進」は、産後ケアの拡充や見守り・支援環境の充実を図ったが、町民アンケートの満足度が目標を下回ったため、進捗度4点・有効度3点としました。

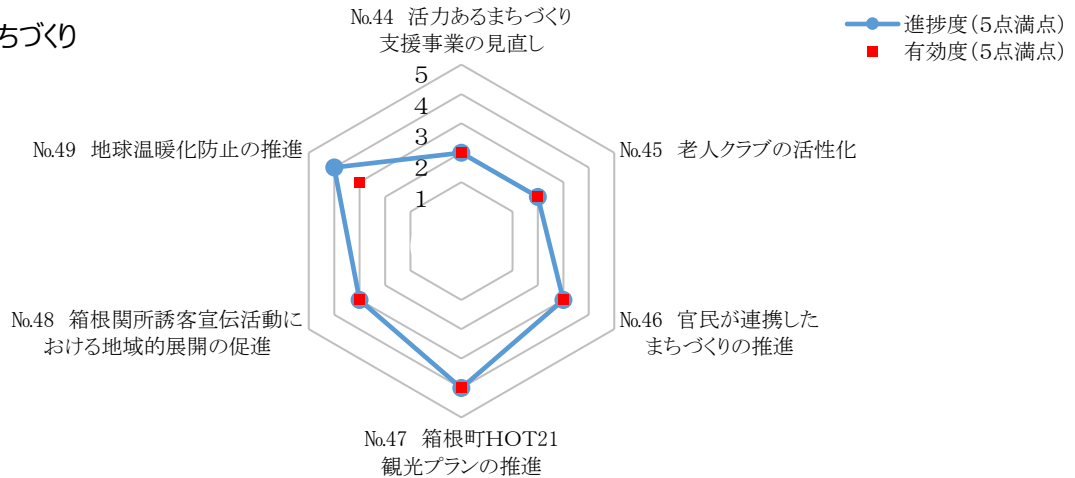
「No.40子育てシェアタウン」は、子育ての担い手、アプリ登録数ともに目標を上回り、サークルの発足などコミュニティも活発化しているため、進捗度・有効度ともに4点としました。

「No.41英語教育の充実」は、外国人観光客へのインタビューや海外児童とのオンライン交流を行うとともに、ニーズの高いクラスに絞って英検対策講座を継続した結果、合格率は上昇したものの目標値には届かなかったため、「No.42地域コミュニティの活性化」は、地域課題を踏まえ、コミュニティの担い手養成塾を開催し、塾生同士にイベント開催や新商品開発など、活性化の動きが生まれたため、それぞれ進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.43高齢者の買い物支援策の検討」は、食べ物販売会は1地区の開催となったが、民間事業者の移動スーパーにおける新ルート追加や高齢者への電子マネーカード配付など、買い物支援策の充実や移動スーパーの利用促進を図ったため、進捗度・有効度ともに3点としました。

基本方針 4 協働のまちづくりに向けた意識改革と自発的に行動する組織づくり

⑭ 協働のまちづくり



「No.44活力あるまちづくり支援事業」は、交流イベント等の機会を捉え周知を強化したものの、補助制度の活用実績が伸び悩んだため、「No.45老人クラブの活性化」は、愛称の普及や認知度向上に加え、地域支援の担い手研修を実施したが、価値観の多様化や働く高齢者の増加等により加入者の減少傾向が続いているため、それぞれ進捗度・有効度ともに2点としました。

「No.46官民が連携したまちづくり」は、空き店舗を利活用した交流スペースが開業し、自走化の兆しが見えてきているため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.47HOT21観光プラン」は後期計画の初年度の実施状況を踏まえ、具体的な取組方法等の調整を行った中で、達成率が目標を上回ったため、進捗度・有効度ともに4点としました。

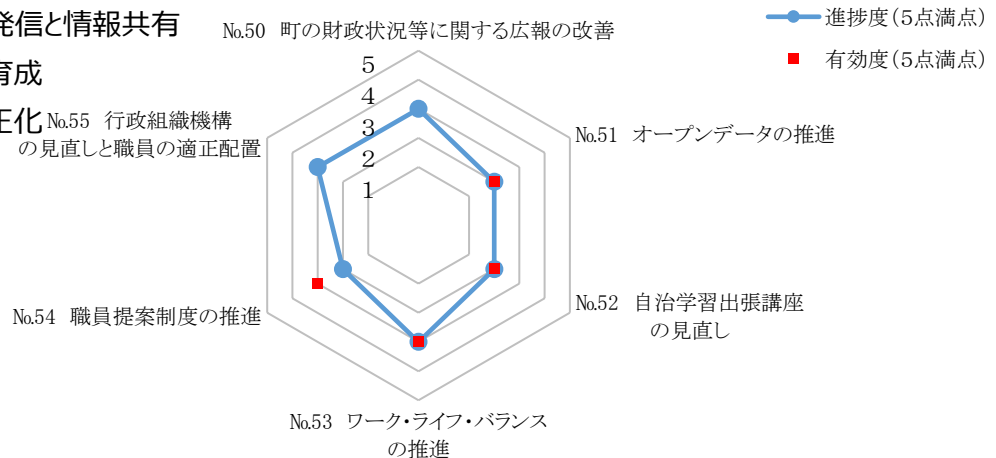
「No.48箱根関所」は、商店街等と連携したイベントや新規企画の立案など、積極的な誘客促進を図り、賑わいの創出につながったため、進捗度・有効度ともに3点としました。

「No.49地球温暖化防止」は、再エネ由来の電力を29施設に拡大するとともに、事業者への普及促進に向け、効果検証に着手したため、進捗度4点・有効度3点としました。

⑮ 積極的な情報発信と情報共有

⑯ 自律型の人材育成

⑰ 行政組織の適正化



「No.50町の財務状況等に関する広報」は、財務会計システムの更新にあわせ、類似団体との比較等を新たに追加した財務書類の説明冊子を作成・公表したため、進捗度3点としました。

「No.51オープンデータの推進」は、公開型GISの本格運用を開始し、閲覧回数等をもとに各テーマの需要を分析したが、オープンデータの公開には至らなかったため、「No.52自治学習出張講座」は、開催件数が1件にとどまり、また、講座メニューや利用方法等の見直しも図ることができなかったため、それぞれ進捗度・有効度ともに2点としました。

「No.53ワーク・ライフ・バランス」は、本人や周囲の育児休業取得に対する意識の定着もあり平均取得日数が目標を大きく上回った一方で、時間外勤務時間は前年度より減少したものの目標には届かなかったため、進捗度・有効度ともに3点としました。

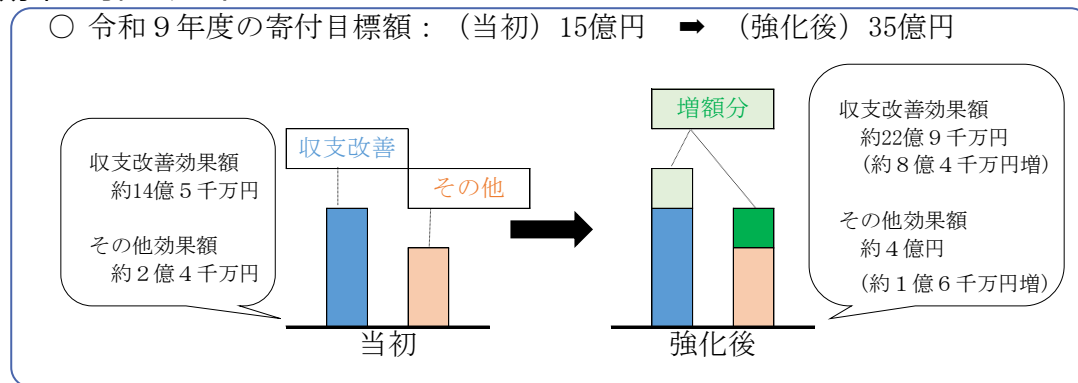
「No.54職員提案制度の推進」は、3件の提案が実施され、行政サービスの品質向上等につながったが、新規提案が減少し、審査を持ち越したため、進捗度2点・有効度3点としました。

「No.55行政組織機構の見直し等」は、定年延長職員の運用状況を確認し、総合計画の策定作業に合わせて、定員管理のあり方を検討したため、進捗度3点としました。

4 計画期間中の取組内容強化

- 第2期では、計画期間中であっても、目標金額の引上げや新たな目標指標の設定など、状況に応じて取組内容を強化することとしています。
- 令和7年度は、「No.13ふるさと納税の促進」の受入体制強化に関する指標を更に強化し、寄付目標額を引き上げました。これにより、収支改善効果額・その他効果額も増額し、行財政改革アクションプラン全体における財政健全化効果額（見込額）は、当初から約10億円増の約26億9千万円となりました。

●効果額引上げのイメージ



- このほかにも各種取組の進捗状況果を踏まえて目標指標を追加するなど、全部で5つの推進項目で取組内容の強化を行いました。

●令和7年度に取組内容強化を行った推進項目

項 目	内 容
基本方針1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換	
重点項目② 負担の適正化	
No.6 固定資産税不均一課税（国際観光ホテル整備法）の見直し	制度見直しの完了を踏まえ、令和7・8年度の計画内容を修正
重点項目③ 自主財源の確保	
No.13 ふるさと納税の促進	目標指標②「寄付目標額」及び収支改善効果額等を引上げ（R8・9）
基本方針2 時代の変化に即応する行政サービスの提供	
重点項目⑤ 行政サービスの質の向上	
No.22 鳥獣被害防止の推進	箱根町鳥獣被害防止計画の改定を踏まえ、年度目標①「捕獲計画数」を設定（R8・9）
No.25 多様化する119番通報への対応	令和7年度までの取組結果を踏まえ、年度目標①「安心感につながったと回答した人の割合」を設定（R8・9）
重点項目⑥ 事務事業の見直し	
No.28 町立観光施設等におけるサービス向上と連携強化	今後の連携強化策の方向性を踏まえ、新たに目標指標②「共同プロモーション活動の充実に関する指標」を設定（R8・9）

5 財政健全化効果額

(1) 令和7年度の実績額

令和7年度財政健全化効果額の実績額 **700,723千円**

うち収支改善効果額… **506,788千円** [歳入分: 525,754千円 歳出分: ▲18,966千円]

その他効果額 … **193,935千円**

令和7年度の財政健全化効果額は、実績額が700,723千円(見込額518,583千円)となりました。
その内訳は、収支改善効果額が実績額506,788千円(見込額433,583千円)、その他効果額が実績額193,935千円(見込額85,000千円)で、いずれも見込額を上回る結果となりました。

(2) 年度別の見込額及び実績額

●行財政改革アクションプランに位置付けた見込額

単位：千円

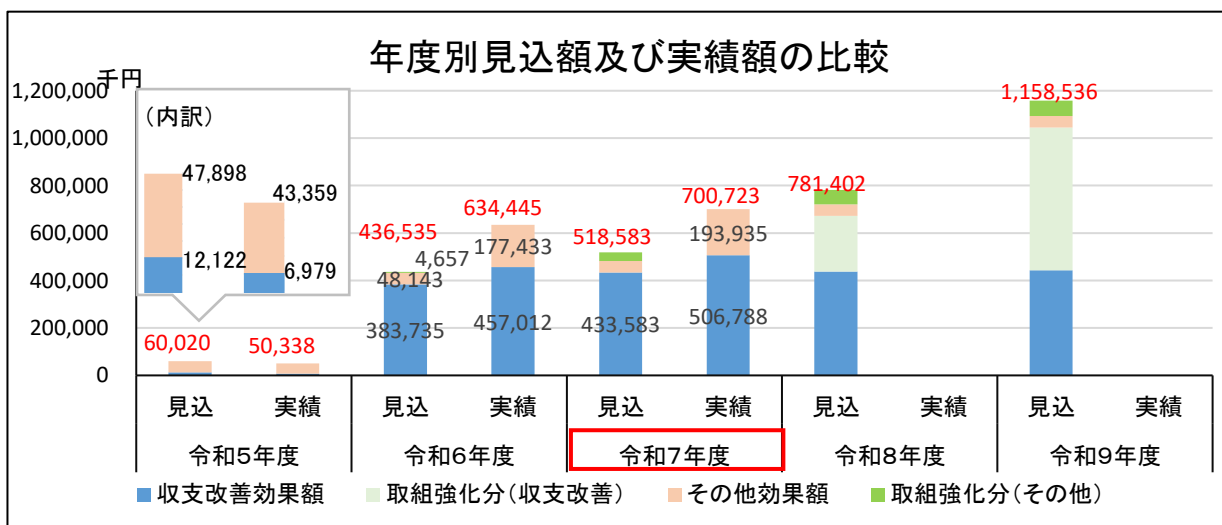
区 分	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	合 計
収支改善効果額	12,122	383,735	433,583	672,202	1,045,136	2,546,778
歳 入	21,797	390,740	435,597	674,231	1,046,187	2,568,552
[うち取組強化分]	[0]	[0]	[0]	[234,301]	[602,301]	[836,602]
歳 出	▲ 9,675	▲ 7,005	▲ 2,014	▲ 2,029	▲ 1,051	▲ 21,774
その他効果額	47,898	52,800	85,000	109,200	113,400	408,298
[うち取組強化分]	[0]	[4,657]	[36,657]	[60,657]	[64,657]	[166,628]
財政健全化効果額	60,020	436,535	518,583	781,402	1,158,536	2,955,076

※取組強化については、「4計画期間中の取組内容強化」(11ページ)を参照

●行財政改革アクションプランの取組みによる実績額

単位：千円

区 分	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	合 計
収支改善効果額	6,979	457,012	506,788	—	—	970,779
歳 入	29,092	477,703	525,754	—	—	1,032,549
歳 出	▲ 22,113	▲ 20,691	▲ 18,966	—	—	▲ 61,770
その他効果額	43,359	177,433	193,935	—	—	414,727
財政健全化効果額	50,338	634,445	700,723	—	—	1,385,506



(3) 推進項目別の財政健全化効果額一覧

- この表は、行財政改革アクションプランに位置付けた55の推進項目のうち、令和7年度の実績に財政健全化効果額を見込んだ項目のみを一覧にしています。
- ()内の額は、一般会計の収支改善に寄与しない効果額、または中長期財政見通しで既に見込んでいる額であるため、効果額の合計に含めていません。
- 「No.17未利用土地の有効活用」は、各年度別に財政健全化効果額を見込んでいないため「R7見込額」は「(-)」としています。

●収支改善効果額

単位：千円

基本方針	重点項目	推進項目	R7 見込額 ①	R7 実績額 ②	差 額 ③=②-①	主管課
1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換	① 健全な財政運営	No.5 公共下水道事業会計の計画的な経営	40,000	0	▲40,000	上下水道温泉課
	③ 自主財源の確保	No.7 財源確保策の検討	(▲600)	(▲641)	(▲41)	企画課
		No.8 償却資産の申告内容調査	18,486	7,344	▲11,142	税務課
		No.9 町税の徴収率の向上	11,654	26,000	14,346	税務課
		No.12 育英奨学金の督促業務の拡充	(4,700)	(5,695)	(1,212)	学校教育課
		No.13 ふるさと納税の促進	363,699	485,195	121,496	財務課
		No.15 町ホームページバナー広告による収入確保	144	▲567	▲711	企画課
	④ 公共施設と土地の適正管理	No.17 未利用土地の有効活用	(-)	(16,374)	(16,374)	財務課
		No.18 廃道・水路敷等の売却促進	100	4,158	4,058	都市整備課
2 時代の変化に即応する行政サービスの提供	⑤ 行政サービスの質の向上	No.22 鳥獣被害防止の推進	▲500	▲500	0	環境課
		No.25 多様化する119番通報への対応	▲330	▲330	0	消防本部
	⑥ 事務事業の見直し	No.26 ごみの減量化、資源化及び適正処理の推進	0	1,483	1,483	環境課
		No.29 公用車の適正管理	50	132	82	財務課
	⑧ DXの推進	No.32 デジタルファーストの実現	(▲17,157)	(▲2,527)	(14,630)	企画課
		No.33 デジタルデバйд対策	(▲764)	(▲2,331)	(▲1,567)	企画課
3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり	⑨ 人口減少高齢化への対応	No.34 定住化の促進	1,400	1,960	560	企画課
	⑩ 災害への備え	No.36 災害情報収集能力の強化	(▲1,400)	(0)	(1,400)	消防本部

単位：千円

基本方針	重点項目	推進項目	R7 見込額 ①	R7 実績額 ②	差 額 ③＝②－①	主管課
3 社会経済情勢の変化に 適応するまちづくり (続き)	⑫ 子育て環境の 充実	No.39 子育て支援の推進	▲2,711	▲3,035	▲324	子育て支援課
		No.40 子育てシェアタウンの推進	(▲9,515)	(▲12,000)	(▲2,485)	子育て支援課
		No.41 英語教育の充実	(▲462)	(▲282)	(180)	学校教育課
	⑬ 町民の暮らし第 一のまちづくり	No.42 地域コミュニティの活性化	0	▲2,497	▲2,497	町民課
4 協働のまち づくりに向 けた意識改 革と自発的 に行動する 組織づくり	⑭ 協働の まちづくり	No.46 官民が連携したまちづくりの推 進	(▲3,084)	(▲240)	(2,844)	都市整備課
		No.48 箱根関所誘客宣伝活動 における地域的展開の促進	(▲2,149)	(▲1,746)	(403)	生涯学習課
		No.49 地球温暖化防止の推進	(▲1,150)	(▲60)	(1,090)	環境課
	⑯ 自律型の 人材育成	No.53 ワーク・ライフ・バランスの 推進	1,621	▲12,555	▲14,176	総務防災課
		No.54 職員提案制度の推進	▲30	0	30	企画課
合 計			433,583	506,788	73,205	－

●その他取組みによる効果額

単位：千円

基本方針	重点項目	推進項目	R7 見込額 ①	R7 実績額 ②	差 額 ③=②-①	主管課
1 財源確保に 向けた早期 対応と財政 構造の段階 的かつ着実 な転換	① 健全な 財政運営	No.2 財政見通しと規律的財政マネ ジメントの実践	(50,000)	(50,000)	(0)	財務課 企画課
	③ 自主財源 の確保	No.13 ふるさと納税の促進	84,000	193,703	109,703	財務課
		No.14 資源保全基金への 寄付・募金機会の拡充	1,000	232	▲768	企画課
	④ 公共施設と 土地の適正管理	No.16 安定的な温泉供給のための 計画的な設備更新	(7,000)	(45,000)	(38,000)	上下水道 温泉課
合 計			85,000	193,935	108,935	—

(4) 財政健全化効果額の考え方

第2期行財政改革アクションプランでは、55の推進項目の実施により見込まれる財政健全化効果を「収支改善効果額」と「その他効果額」の2つに分けています。

「収支改善効果額」は、各年度の収支改善に寄与する項目を対象とし、「No.8 償却資産の申告内容調査」など歳入増加の取組みである収支改善効果額（歳入）の合計約25億6,900万円から、「No.39 子育て支援の推進」など歳出が増加してもサービスの向上を図る取組みにおける収支改善効果額（歳出）の合計約2,200万円を差し引いた「収支改善効果額」全体の合計は、5年間で約25億4,700万円を見込んでいます。

また、「その他効果額」は、毎年度の収支改善に直接寄与しないものの、財政状況の改善という観点から効果額が見込まれるものを対象とし、「No.13 ふるさと納税の促進」における財政調整基金への積立て（災害等への備え分）など、5年間で約4億800万円を見込んでいます。

この「収支改善効果額」と「その他効果額」の2つの効果を合計した「財政健全化効果額」は、令和5年度から9年度までの5年間の合計は、約29億5,500万円を見込んでいます。

●第2期行財政改革アクションプランに位置付けた見込額（再掲）

単位：千円

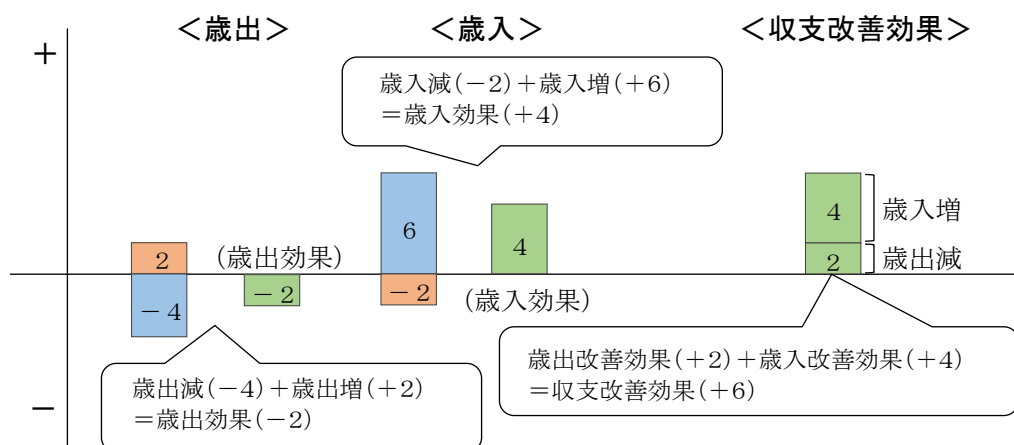
区 分	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	合 計
収支改善効果額	12,122	383,735	433,583	672,202	1,045,136	2,546,778
歳 入	21,797	390,740	435,597	674,231	1,046,187	2,568,552
[うち取組強化分]	[0]	[0]	[0]	[234,301]	[602,301]	[836,602]
歳 出	▲ 9,675	▲ 7,005	▲ 2,014	▲ 2,029	▲ 1,051	▲ 21,774
その他効果額	47,898	52,800	85,000	109,200	113,400	408,298
[うち取組強化分]	[0]	[4,657]	[36,657]	[60,657]	[64,657]	[166,628]
財政健全化効果額	60,020	436,535	518,583	781,402	1,158,536	2,955,076

●効果額の考え方

歳出減と歳入増に加え、住民福祉向上のため政策的に必要性の高い取組みであれば、歳出増や歳入減となる取組みも積極的に推進項目とします。

例) 歳出増…「子育て支援の推進(医療費助成の拡充)」など

歳入減…町立小・中学校の給食費の無償化(令和3年度から実施)など



6 推進項目別の評価結果

(1) 推進項目別の評価結果

- この表は、第2期行財政改革アクションプランに位置付けた55の推進項目の令和7年度の実績における「財政健全化効果額」、「取組みの進捗度」、「行財政改革に対する有効度」、「年度目標の達成状況」の一覧です。
- 「財政健全化効果額」は、行財政改革アクションプランで設定した効果額に対する令和7年度決算見込に基づく実績額を記載しています。また、効果額の設定がないものは、『—』としています。
- 「有効度」のうち、令和7年度の実績内容が調査・検討などとしていたものは、行財政改革の実施による有効度が発生していないため、『—』としています。
- 「年度目標達成状況」のうち、複数年度をかけて仕組を導入するなど、単年度で達成状況を確認することが困難な指標は、『【—】』としています。

単位：千円

項 目	財 政 健全化 効果額	進捗度 (S,A～D)	有効度 (S,A～D)	年度目標 達成状況		主管課
				①	②	
基本方針1 財源確保に向けた早期対応と財政構造の段階的かつ着実な転換						
重点項目① 健全な財政運営						
No. 1 持続可能な行財政運営方法の確立	—	B	—	【-】	/	企画課 財務課
No. 2 財政見通しと規律的財政マネジメントの実践	(50,000)	B	B	【a】	【b】	財務課 企画課
No. 3 国民健康保険特別会計の計画的な運営	—	A	B	【c】	【a】	保険健康課
No. 4 介護給付費適正化	—	B	B	【b】	/	福祉課
No. 5 公共下水道事業会計の計画的な経営	—	C	C	【b】	【c】	上下水道温泉課
重点項目② 負担の適正化						
No. 6 固定資産税不均一課税 (国際観光ホテル整備法)の見直し	—	S	S	【-】	/	税務課
重点項目③ 自主財源の確保						
No. 7 財源確保策の検討	(▲641)	S	—	【-】	【-】	企画課
No. 8 償却資産の申告内容調査	7,344	B	C	【c】	【c】	税務課
No. 9 町税の徴収率の向上	26,000	B	A	【c】	【a】	税務課
No.10 町営住宅使用料の徴収率の向上	—	B	B	【b】	/	福祉課
No.11 国民健康保険料の収納率の向上	—	B	A	【c】	【s】	保険健康課
No.12 育英奨学金の督促業務の拡充	(5,412)	A	S	【s】	/	学校教育課
No.13 ふるさと納税の促進	678,898	S	S	【a】	【s】	財務課
No.14 資源保全基金への寄付・募金機会の拡充	232	B	B	【b】	【c】	企画課
No.15 町ホームページバナー広告による収入確保	▲ 567	B	C	【c】	【c】	企画課
重点項目④ 公共施設と土地の適正管理						
No.16 安定的な温泉供給のための計画的な設備更新	(45,000)	B	A	【-】	【s】	上下水道温泉課
No.17 未利用土地の有効活用	(16,374)	B	A	【-】	【a】	財務課
No.18 廃道・水路敷等の売却促進	4,158	A	A	【a】	/	都市整備課
No.19 公共施設のあり方の抜本的な見直し	—	B	—	【-】	【-】	企画課 財務課
No.20 公衆トイレ維持に係る新たな財源の検討	—	B	—	【-】	/	観光課

単位：千円

項 目	財 政 健全化 効果額	進捗度 (S,A～D)	有効度 (S,A～D)	年度目標 達成状況		主管課
				①	②	
基本方針2 時代の変化に即応する行政サービスの提供						
重点項目⑤ 行政サービスの質の向上						
No.21 電子納税の推進	—	A	S	【s】	／	税務課
No.22 鳥獣被害防止の推進	▲ 500	A	A	【a】	／	環境課
No.23 公民館図書室（移動図書館を含む）の蔵書充実	—	C	C	【c】	【c】	生涯学習課
No.24 道路占用料等の新たな納付機会の拡充 と申請等のオンライン化	—	B	—	【-】	／	都市整備課
No.25 多様化する119番通報への対応	▲ 330	B	A	【-】	【s】	消防本部
重点項目⑥ 事務事業の見直し						
No.26 ごみの減量化、資源化及び適正処理の推進	1,483	A	A	【a】	【-】	環境課
No.27 観光案内所のあり方の見直し	—	A	—	【-】	／	観光課
No.28 町立観光施設等におけるサービス向上 と連携強化	—	B	B	【b】	【-】	観光課 生涯学習課
No.29 公用車の適正管理	132	B	A	【-】	【a】	財務課
No.30 下水道における不明水流入対策	—	A	A	【s】	／	上下水道温泉課
重点項目⑦ 民間活力の活用						
No.31 水道事業の包括委託導入の検討	—	C	—	【-】	／	上下水道温泉課
重点項目⑧ DXの推進						
No.32 デジタルファーストの実現	(▲2,527)	A	A	【-】	【a】	企画課
No.33 デジタルデバйд対策	(▲2,331)	A	A	【a】	【a】	企画課
基本方針3 社会経済情勢の変化に適応するまちづくり						
重点項目⑨ 人口減少高齢化への対応						
No.34 定住化の促進	1,960	A	A	【a】	【a】	企画課
重点項目⑩ 災害への備え						
No.35 災害時の応急給水方法の見直し	—	C	—	【-】	／	上下水道温泉課
No.36 災害情報収集能力の強化	—	B	—	【-】	【-】	消防本部
No.37 消防団組織の充実強化	—	B	B	【c】	／	消防本部
重点項目⑪ 医療体制の整備						
No.38 町内の医療環境整備	—	A	B	【a】	【-】	保険健康課
重点項目⑫ 子育て環境の充実						
No.39 子育て支援の推進	▲ 3,035	A	B	【b】	／	子育て支援課
No.40 子育てシェアタウンの推進	(▲12,000)	A	A	【a】	【s】	子育て支援課
No.41 英語教育の充実	(▲282)	B	B	【b】	【b】	学校教育課
重点項目⑬ 町民の暮らし第一のまちづくり						
No.42 地域コミュニティの活性化	▲ 2,497	B	B	【-】	【-】	町民課
No.43 高齢者の買い物支援策の検討	—	B	B	【c】	【c】	福祉課

単位：千円

項 目	財 政 健全化 効果額	進捗度 (S,A～D)	有効度 (S,A～D)	年度目標 達成状況		主管課
				①	②	
基本方針4 協働のまちづくりに向けた意識改革と自発的に行動する組織づくり						
重点項目⑭ 協働のまちづくり						
No.44 活力あるまちづくり支援事業の見直し	—	C	C	【c】		町民課
No.45 老人クラブの活性化	—	C	C	【c】	【c】	福祉課
No.46 官民が連携したまちづくりの推進	(▲240)	B	B	【b】	【-】	都市整備課
No.47 箱根町HOT21観光プランの推進	—	A	A	【s】	【s】	観光課
No.48 箱根関所誘客宣伝活動における 地域的展開の促進	(▲1,746)	B	B	【b】	【b】	生涯学習課
No.49 地球温暖化防止の推進	(▲60)	A	B	【a】	【-】	環境課
重点項目⑮ 積極的な情報発信と情報共有						
No.50 町の財政状況等に関する広報の改善	—	B	—	【-】	【-】	財務課
No.51 オープンデータ※の推進	—	C	C	【c】		企画課
No.52 自治学習出張講座の見直し	—	C	C	【-】	【c】	生涯学習課
重点項目⑯ 自律型の人材育成						
No.53 ワーク・ライフ・バランス※の推進	▲12,555	B	B	【c】	【s】	総務防災課
No.54 職員提案制度の推進	0	C	B	【-】	【a】	企画課
重点項目⑰ 行政組織の適正化						
No.55 行政組織機構の見直しと職員の適正配置	—	B	—	【-】	【-】	企画課 総務防災課

※オープンデータ：公共データを、営利・非営利問わず、誰もが自由に再利用可能な形式で公開すること。

※ワーク・ライフ・バランス：仕事・家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できる状態のこと。